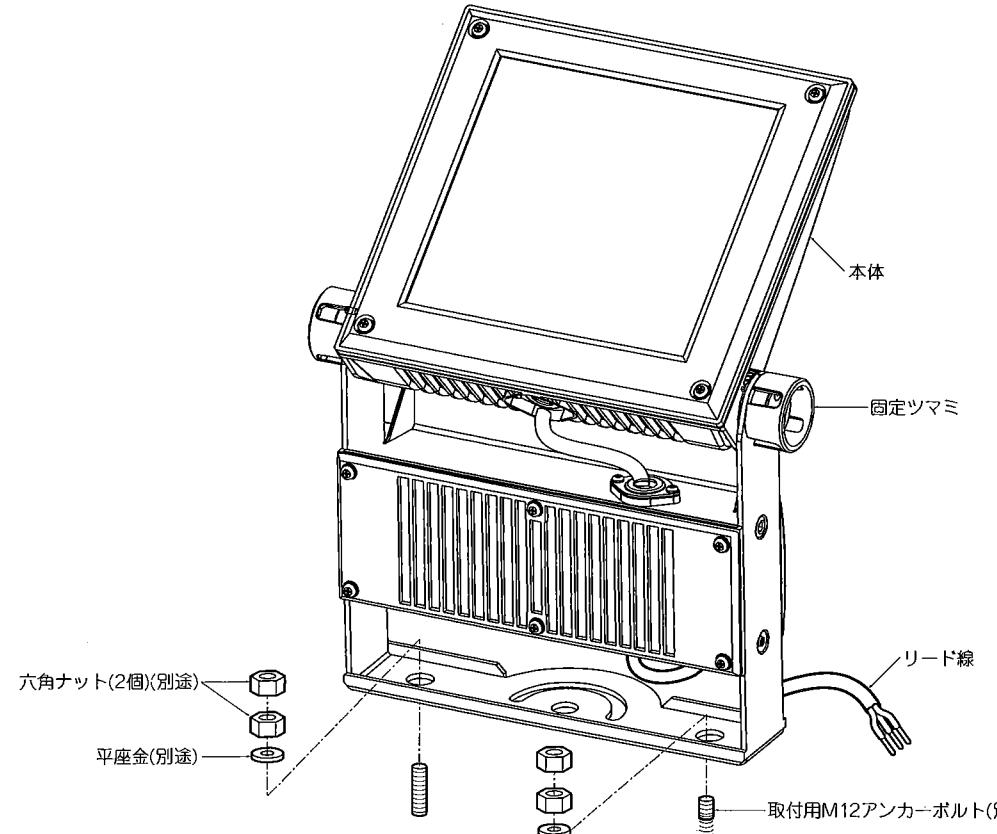


取扱説明書

アウトドアスポットライト(看板灯) 保管用

◆各部の名称

この図は一部省略抽象
した共通部品図です

◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光
Ss12	ERS3767S	昼白色タイプ	横配光
	ERS3767W	ナチュラルホワイトタイプ	
	ERS3631S	電球色タイプ(3000K)	縦配光
	ERS3632S	ナチュラルホワイトタイプ	
	ERS3768S	電球色タイプ(3000K)	
	ERS3768W	ナチュラルホワイトタイプ	
Ss24	ERS3633S	ナチュラルホワイトタイプ	横配光
	ERS3634S	電球色タイプ(3000K)	
	ERS3769S	昼白色タイプ	
	ERS3769W	ナチュラルホワイトタイプ	横長配光
	ERS3635S	電球色タイプ(3000K)	
	ERS3636S	ナチュラルホワイトタイプ	

区分	型番	定格電圧	周波数	区分	入力電圧	入力電流	消費電力
Ss12	ERS3767S	100V	225mA	22.4W			
	ERS3767W	200V	111mA	21.8W			
	ERS3631S	242V	93mA	21.7W			
Rs12	ERS3632S	100V	235mA	22.8W			
	ERS3768S	200V	132mA	22.3W			
	ERS3768W	242V	119mA	22.3W			
Ss24	ERS3633S	100V	424mA	42.1W			
	ERS3634S	200V	213mA	41.1W			
	ERS3770S	242V	181mA	41.2W			
Rs24	ERS3770W	100V	421mA	41.6W			
	ERS3413S	200V	219mA	40.8W			
	ERS3414S	242V	191mA	40.8W			

区分	型番	ランプ色	配光	区分	型番	定格電圧	周波数	区分	入力電圧	入力電流	消費電力
Ss36	ERS3772S	昼白色タイプ	横配光								
	ERS3772W	ナチュラルホワイトタイプ									
	ERS3639S	電球色タイプ(3000K)	横長配光								
	ERS3640S	ナチュラルホワイトタイプ									
	ERS3773S	電球色タイプ(3000K)									
	ERS3773W	ナチュラルホワイトタイプ									
Ss36	ERS3415S	ナチュラルホワイトタイプ	縦配光								
	ERS3416S	電球色タイプ(3000K)									
	ERS3774S	ナチュラルホワイトタイプ									
	ERS3774W	電球色タイプ(3000K)									
	ERS3641S	ナチュラルホワイトタイプ	縦配光								
	ERS3642S	電球色タイプ(3000K)									
Ss36	ERS3772S	AC100V-242V	50Hz/60Hz	Ss36	100V	619mA	61.5W	Ss36	200V	312mA	60.1W
	ERS3772W				242V	267mA	59.7W				
	ERS3639S										

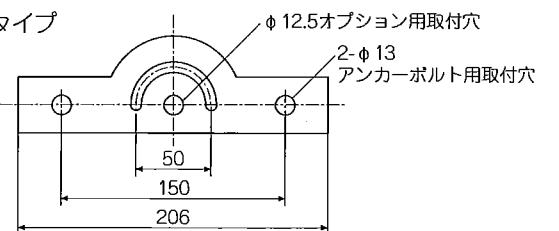
△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆LED光源について

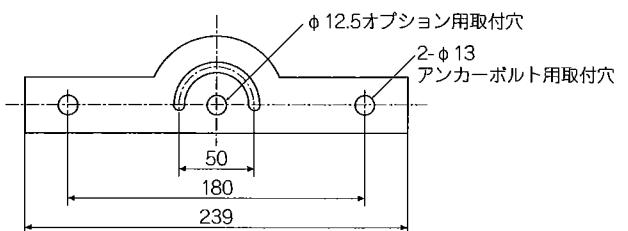
- LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

◆取付方法

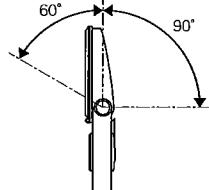
● Ss12タイプ



● Ss24/Ss36タイプ



◆可動範囲



△ 指定範囲以外可動させないでください。破損・落下・感電の原因となります。

◆取付方法

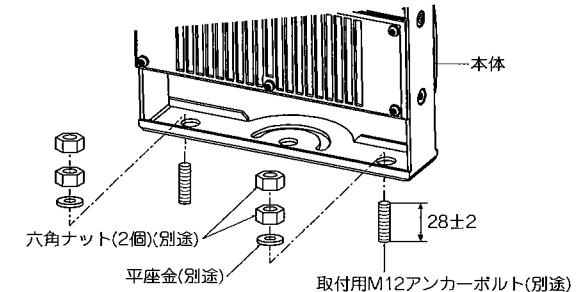
- 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

- 器具重量に耐える様、取付面の強度を確保してください。

△ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損等の原因となります。

- 本体を取付けてください。
 - 取付用M12アンカーボルト、六角ナット(2個)、平座金(ステンレス製)は別途ご用意ください。
 - 指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
 - 本体の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、六角ナット(2個)で確実に締め付け取付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 電源線と器具側のリード線を結線し、自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行なってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

※100Vで使用の場合でもD種接地工事を行ってください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

■清掃方法について

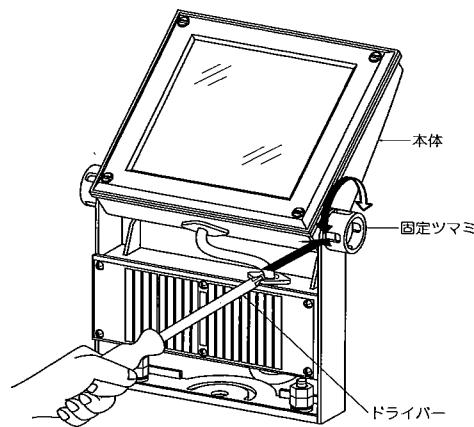
△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナー・ベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

5. 固定ツマミ(2個)を緩めて本体を調整し、照射位置を合わせてください。調節後、固定ツマミ(2個)にドライバーを差し込み、確実に締め付け固定してください。

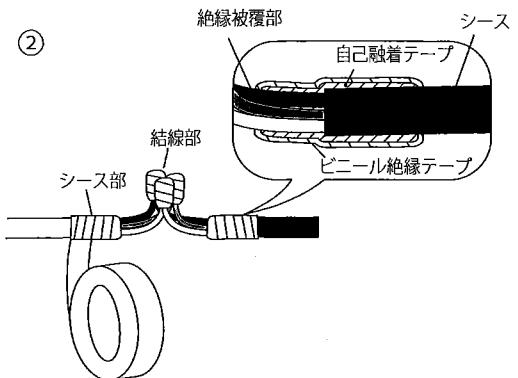
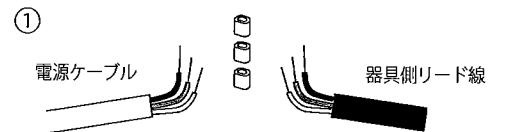


△ 点灯中は灯体が高温になりますので十分にご注意ください。やけどの原因となります。

◆ 結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。
結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。

※ 結線部に直接水がかからないように防水BOX内での施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。